



フットボール

西川副小学校だより 第20号

令和6年2月22日
文責 校長 大石 文枝

学校教育目標:よく学び 助け合う 元気な子の育成
～かしこく やさしく たくましく 笑顔輝く西っ子～
自分を大事に そして人を大事に! 自分で考え、動きます!



西川副小学校HP
QRコード

◆6年生との校長室での給食会食◆

今年度は、1月末から卒業を控えた6年生と校長室で給食会食を始めました。昨年度まではコロナ禍ということもあり、実施を控えておりました。ただ、今年度はコロナが5類に分類されるようになりましたので、小学校生活の半分以上はコロナ禍にあって、我慢を強いられてきた6年生の子どもたちに1つでも多く思い出をつくらせたいと思い、校長室での会食を企画しました。他校ではインフルエンザやコロナが流行していて学級閉鎖をしているところが多数ある中、現在本校にはまだその波がやってきてはいませんので、実施ができています。

会食をしながら、小学校の楽しかった思い出、6年生で流行っていること、子どもたちが今一番に興味や関心があること等を話してくれました。また、中学校に進んでがんばりたいことや楽しみにしている教科、それから、将来の夢や希望も話してくれました。校門で挨拶を交わしたり授業の様子を参観したりするだけでは分からない一人一人の話をじっくりと聞くことができ、とても楽しい時間を過ごしています。6年生は、あと約3週間で卒業となります。校長室での給食会食も小学校での思い出の一つとして、心に刻んでくれればと思っています。



6松の子どもたち



6竹の子どもたち

◆4年生豆腐づくり◆

今年度もまちづくり協議会の皆様にお世話になりながら、4年生は大豆の収穫にかかわる体験をさせていただきました。大豆の種まきに始まり、枝豆の試食と収穫、そして、大豆の収穫、それから、収穫した大豆を使っての豆腐づくり、最後は「きずな祭り」(3月10日)での大豆の販売です。

その中で、2月13日には豆腐づくりを行いました。この豆腐づくりにもまち協の皆様がたくさん来ていただきました。豆腐づくりは、様々な行程があり、間違えるとうまく豆腐にはなりません。また、温度の管理も大事です。でも、そこはまち協の方々が導いてくださいましたので、上手に豆腐が完成しました。豆腐づくりで出たおからで、おからサラダもでき上がりました。できた上がったばかりの豆腐やおからサラダをお昼にいただきましたが、自然本来の甘みがあってとてもおいしかったです。子どもたちもまち協の方々がしてくださったこの一年間の協力に感謝をしながらおいしくいただきました。

本当にまちづくり協議会の皆様、子どもたちのためにこの一年間ご協力ありがとうございました。



まち協の方々のご挨拶



てほどきを受けて豆腐づくりに挑戦



まち協の皆様と一緒にいただきます

※裏面には、4年生の子どもたちが作成した「きずな祭り」での大豆販売のちらしを掲載しています。